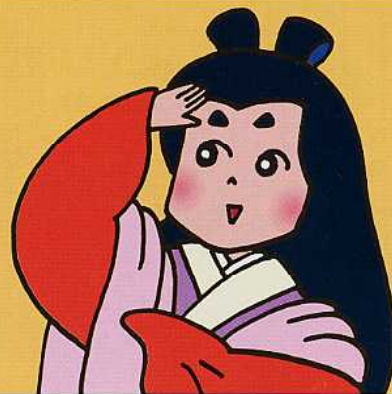


いにしへの くまの 古の熊野 入口コース

消費カロリー
約189kcal

[カロリーは体重60kgの人を目安に計算しています。]



4世紀末頃に造営された岩内3号墳、有間皇子の墓とされる1号墳を経て、熊野神社に参拝。岩内村のために尽力した鈴木立庵。彼の偉業でもある2000メートルにも及ぶ灌漑用水路を巡ります。

1 岩内王子跡

2 岩内3号墳跡

4世紀末頃に築造された円墳。中央に埋葬された割竹木棺からは、鏡・巴形銅器・勾玉・管玉・腕輪・櫛・直刀・剣・槍・鉄鍬・刀子・針・斧・鉈・鎌・鍬等の副葬品が出土している。

3 岩内1号墳

7世紀中頃に築造された横穴式石室墳。木棺に塗られた漆の破片や飾り金具、銀線蛭巻太刀などの内容から被葬者は謀反の罪で処刑された有間皇子とする説が有力である。



4 道路改修記念碑

碑には、「岨つたひ長くたどりし細道をけふはひらけて歩む嬉しさ」と明治42年の道路改修のよこびを歌に刻む。

5 野口城址の碑

6 熊野神社



当社は抱瘡の神様として有名で、「延記録」に「昔は社殿も壮麗で神領も多く、神輿が牟婁郡田辺牛の鼻まで渡御した」と記されている。また、熊野と書いて「イヤ」と称するは『古事記』に見られる「出雲の伊賦夜坂」に熊

野という漢字をあてたからではないかと言われている。

7 鈴木立庵の灌漑用水路



江戸時代、第6代鈴木立庵は後谷池の大改修と丘陵上に2kmの用水路を掘削し、40町歩の新田を開発した。現地には、今もトンネルや水路が残っている。

8 鈴木家

古く姓を穂積と称する。神武帝の世、馬に食べさせる飼料を献じて穂積の姓を賜ったと伝える。古くから岩内村に居を構え、江

戸時代に至って医業をおこした。特に「ハンセン病」の処方薬を代々伝え、鈴木家にはこの薬を無料で施すことを宣伝したチラシなどが残っている。

9 熊野古道



御坊ものがたり

熊野神社の

金の神輿と

雨乞いの壺

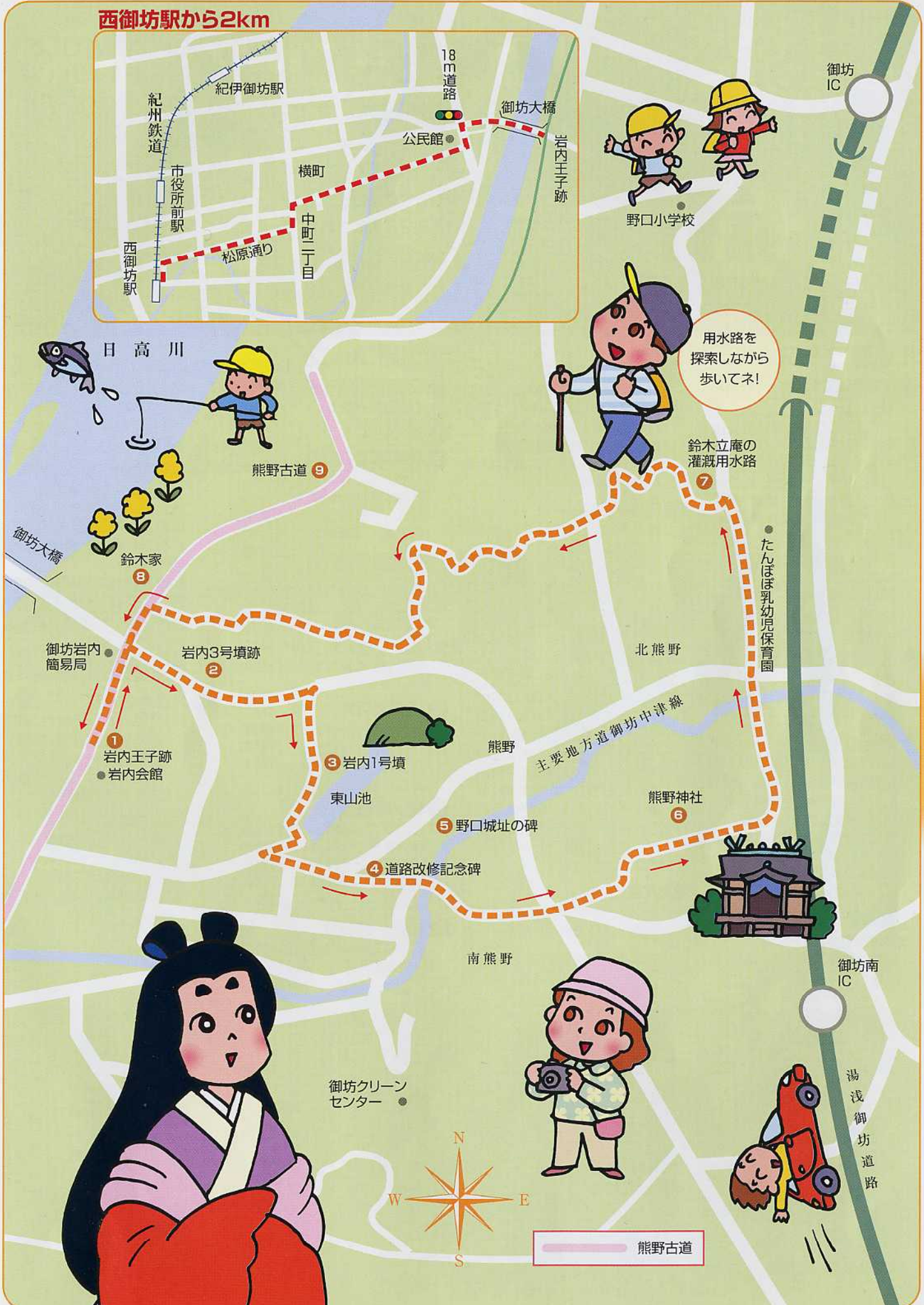
熊野神社には金の神輿を埋めているという。その場所は「朝日さし、夕日輝くその下・・・」という。

また朱の樽七個、白玉、鏡などを所蔵していたといい、玉は豊臣秀吉が南征した時隠したのを、明治の中頃、近くの百姓が掘りあてて持っていた。当時の官人がそのことを伝え聞き、百姓からその玉を持っていったままになっているという。

このほか、雨乞いの壺というものがある。雨乞いの時、この壺に水を満たし、松明をともして山で雨乞いをしたのであろうという。



西御坊駅から2km



用水路を探索しながら歩いてネ!

熊野古道